



1. 製品及び会社概要

- 1.1 **製品名**
松風フィッティングライナーパイオ
- 1.2 **会社名**
株式会社 松風
- 1.3 **住所**
京都市東山区福稲上高松町 1 1
- 1.4 **担当部門**
技術部品質保証課
- 1.5 **担当者**
品質保証課長
- 1.6 **電話番号**
075-561-1112
- 1.7 **FAX 番号**
075-561-2272

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性固体	区分外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性固体	区分外
金属腐食性物質	区分外

人健康有害性

皮膚腐食性/刺激性	区分外
発がん性	区分外

記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素

—

注意喚起語

—

危険有害情報

眼、皮膚などに触れたとき、一過性の機械的刺激を生じることがある。
粉じんを長期にわたり多量に吸入したとき、呼吸器への影響を生じるおそれがある。

注意書き

[安全対策]
取扱説明書を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じんを吸入しないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
[応急措置]
—
[保管]
室内で常温保管すること。



[廃棄]

内容を明確にして公認の産業廃棄物処理業者に委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

国・地域情報

国内法は第15章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別

混合物

3.2 成分及び含有量

アルカリアースシリケートウール	88-97 %
有機バインダー	3-12 %

3.3 官報公示整理番号（化審法）

—

3.4 CAS No.

436083-99-7

4. 応急措置

4.1 眼に入った場合

異物感がなくなるまで、流水で洗浄する。眼をこすってはならない。

4.2 皮膚に付着した場合

水または微温湯で洗い落とし、石鹼でよく洗う。痛みが残ったり、なにか症状のあるときは、医師の診察を受ける。

4.3 吸入した場合

新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

4.4 飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

不燃性なので、火災時の措置は特になし。

6. 漏出時の措置

飛散しないように掃除機で回収する。掃除機が使用できない場合は、湿潤な状態にして、掃き集めて回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

7.1 取り扱い

- ・粉じんが拡散するのを防止するため、屋内の取り扱い作業所には、必要に応じて、局所排気装置等の対策を講じる。
- ・粉じんの飛散を防止することができない場合には、防じんマスクを着用する。
- ・眼、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具を着用する。
- ・作業衣などに付着した場合は、よく取り除く。
- ・取り扱い後は、うがい及び手洗いを励行する。

7.2 保管

室内で常温保管する。水濡れに注意すること。

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 設備対策

粉じんの飛散源を密閉するか、局所排気装置、除じん装置を設置する。
設置することが困難な場合は、下記に定める保護具を使用すること。

8.2 管理濃度

質量濃度（吸入性粉じん）3.0 mg/m³

8.3 許容濃度

設定されていない。

8.4 保護具

防じんマスク 作業環境中の濃度が、上記の基準を超えるおそれのある場合は、防じんマスクを着用する必要がある。防じんマスクの型式は、フィルタ交換型が通常は適している。多くの種類の国家検定品が市販されているので、この中から作業に適したものを選定し、顔面への密着の状態には特に留意するとともに、フィルタの点検と交換などの保守管理を適切に行う。

保護眼鏡 ゴーグル、サイドシール付き保護眼鏡など、作業に適した保護具を使用する。

手袋・作業衣 ゴム手袋、長袖の作業衣など、作業に適したものを使用し、皮膚が露出しないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 外観等	ウール状、繊維
9.2 色	白色
9.3 平均繊維径	1-10 μm
9.4 引火点	非引火性
9.5 発火点	なし
9.6 爆発範囲	なし
9.7 温度グレード	1300 °C
9.8 真比重	2.60
9.9 溶解性	水、有機溶剤に不溶

10. 安定性及び反応性

10.1 安定性

通常の手扱い範囲内で安定。

10.2 反応性

無し

11. 有害情報

11.1 急性作用

眼に入った場合： 物理的な刺激作用がある。
皮膚に付着した場合： かゆみや紅斑を生じることがあるが、一過性で慢性障害を生ずることはない。

11.2 慢性作用

発生する粉じんに吸入性繊維は含まれるが、吸入しても排出され易いため、呼吸系の障害を生じるおそれと低いと考えられる。

11.3 発がん性

EU 指令 97/69/EC の NotaQ（適用除外要件）に該当し、EU の人造鉱物繊維の発がん性分類では、

カテゴリ0（発がん性なし）に該当する。国際がん研究所（IARC）では、発がん性分類の記載がない。

12. 環境影響性

12.1 分解性	データ無し
12.2 蓄積性	データ無し
12.3 魚毒性	データ無し

13. 廃棄上の注意

本製品から発生する廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく廃棄物の分類の「ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず」に該当するので、通常の産業廃棄物として取り扱って差し支えはない。

14. 輸送上の注意

- 14.1 注意事項**
危険性はないが、輸送中の包装の破損などによって粉じんが飛散しないように注意する。
- 14.2 国連番号・国連分類**
非該当

15. 適用法令

- 15.1 消防法**
該当しない。
- 15.2 労働安全衛生法**
通知対象物（人造珪物繊維）
- 15.3 特定化学物質障害予防規則**
該当しない。

（注） アルカリアースシリケートウールは、「粉じん障害予防規則（粉じん則）」において「珪物」に該当し、次の作業を行う場合は粉じん則の適用を受けるが、「特定化学物質障害予防規則（特化則）」など、その他の法規の適用は受けない。

- ①珪物（本製品）を裁断し、彫り、または仕上げる場所における作業（粉じん則別表1の6号）
- ②珪物（本製品）を動力により破碎し、粉碎しまたはふるいわける場所における作業（粉じん則別表1の8号）
- ③耐火性を用いてかま、炉等を築造し、若しくは修理し、また耐火物を用いた釜、炉等を解体し、若しくは破碎する作業（粉じん則別表1の19号）

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

*）本製品は、歯科用として設計しておりますので、他の用途のご利用の場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、性能についても事前にご確認の上でご利用ください。

[その他]



安全データシート

印刷日：2017-06-06

使用前のアルカリアースシリケートウール中には遊離けい酸（結晶性シリカ）は存在しないが、更なる加熱（1000℃以上）に伴い、繊維の結晶化が進行し、表面の一部が遊離けい酸の一種であるクリストバライトに徐々に変化する。使用后、これらの物質を排気すると、少量の遊離けい酸が含まれる粉じんが発生する可能性がある。遊離けい酸はじん肺を生じる作用があるため、窯炉の補修、解体等においては、この粉じんを吸入することがないように注意する必要がある。

管理濃度 (mg/m³) = 3.0 / (1.19Q + 1) Q : 遊離けい酸含有率 (%)